

「晩登会奨学金」創設

来春から支給スタート

本同窓会はこのたび、大学進学を目指す母校の卒業生を対象に奨学金制度を創設しました。毎年、奨学生2人に各10万円を給付し、学業を支援します。同窓会の奨学金制度は鳥取県内では珍しく、多方面から賛同と激励の声が寄せられています。

新型コロナウイルスの感染拡大は、生徒の家庭にも大きな影響を与えています。同窓会が愛称「晩登会」を名乗るようになってから1年。この機会に、何か「晩登精神」の原点に立ち返った活動をやりましよう」と提案し、学校側とも協議を重ねてきました。

本来であれば総会で決める事案ですが、コロナ禍にあって総会が開けず、同窓会会則に基づき9月9日、総会代替役員会を開催し、全会一致で決定していただきました。

思えば、育英という学校は、貧しくとも志のある生徒を支援し続けてきた誇らしい歴史を持っています。創立者、豊田太蔵先生は私財を投げ打って学費を貸与、もしくはは贈与してきました。



学生支援の奨学金制度の創設を報告する佐伯健二(左)と豊田校長。北東町の鳥取中央育英高校

大学進学希望者の力に

鳥取中央育英同窓会を創設した、奨学生2人に「晩登会」(佐伯健二会長)各10万円を給付する奨学金制度。大学進学を目指す学生を支援する同窓会の奨学金制度。鳥取県内では珍しく、多方面から賛同と激励の声が寄せられています。

東京に「晩登塾」を開設し、70年近く苦学の母校卒業生を助けて来た歴史もよく知られています。私たちの取り組みは、それに比べるとささやかなものではあります。豊田先生の遺志を受け継ぎ、母校の人材育成に一役買いたいと思っています。

大学進学を目指す3年生やその保護者には、学校を通じて奨学金制度創設をお知らせしました。今後、「奨学生選考委員会」を組織し、2人を選定して入学後早い時期に支給します。後輩の皆さんには、それぞれが力強く自らの未来を切り開いてほしい。そのように願っています。

奨学金の原資は、多くの同窓生から毎年寄せられる「同窓会活動協力金」から基金をくくって充てます。協力金は一口2千円で、昨年度は計約140万円が集まりました。多額の寄付もあり、感謝に堪えません。今年度は180万円を目標に予算化しています。

同窓生の皆さんの力を得て、この奨学金制度を発展させて行きたいと思っております。引き続きご支援、ご協力をお願いします。

(同窓会長 佐伯健二)

▲日本海新聞(10月8日付)

No. 53



晩登會報

鳥取中央育英高校同窓会報
題字は山田美鈴氏(S58年卒)

2021年11月1日
発行:同窓会編集委員会
電話 0858-37-3211

克己

他に勝たんと欲する者は、須らく先ず克己の勇氣を興起すべし。己に克つことを得ざる薄志弱行の徒は、安くんぞ能く他に勝つことを得んや。苟くも本校に就学する者は、緊禪一番、常に斯の氣を鼓舞振作することを要す。

昭和丁丑秋日
八十二翁
晩登書

(創立者 豊田太蔵先生の遺訓による)

いくえい
を歩く

裏口の石柱

この石柱は母校の校地裏口で対になって立っている。一見して、相当昔のものだと分かる。5年前、創立110周年記念事業の一つとして「豊田太蔵ゆかりの地ウオーク」を企画し、コースを下見していたところ、私の目に飛び込んできた。

古い育英中学の写真を思い出し、自宅に帰って100周年記念誌を取り出して見た。やはり、育英中学の正門だ。これは大発見ではないか。

ドキドキしながらS教頭(のちの校長)に報告したら、「ええ、そうです」と、極めて冷静、期待した反応はまったく無し。

今の校舎が完成した昭和54年から裏口に立っているという。知る人ぞ知る。知らない人は全く知らない。「育英の歴史の証人」の表示がほしいですね。

(さ)



「第6回同窓生美術展」開催

11月22日～26日 豊田記念会館

特別展示 山本竜門遺作

9月9日開催の総会代替役員会では、晩登会奨学金制度創設のほか、第6回同窓生美術展を今秋開催することが決まりました。

同美術展はコロナ禍のため、昨年中止し、ことしも7月開催を延期してしました。最近になって、東京をはじめ各地で発令されていた緊急事態宣言が全

面解除され、状況好転の兆しが見えてきたため、開催に踏み切りました。

会場は、これまで同様、母校の豊田記念会館です。期間は11月22日(月)から26日(金)まで。絵画、書、工芸、写真、彫刻など芸術分野で活躍する同窓生の作品が多数出品される予定です。今回は、今春亡くなった山本

竜門(本名・紀康、S34)氏の遺作が特別展示されます。同氏は京仏師伝統の仏像と円空・木喰(もくじき)風の2種の仏像を併存させながら、永年にわたって制作活動に励んでこられました。



同窓会にも気軽に参加され、ゲームの景品に自身の作品を借

しげもなく提供されました。特別展示では山本氏の代表作を展示し、多くの人から親しまれた「竜門さん」をしのびます。

このほかの事業予定

役員会で決まったこのほかの事業は次の通りです。

同窓会報53号2500部発行(11月1日)▽同窓会入会式(令和4年2月28日、母校)▽同窓会報54号発行3千部(同4月1日)▽第7回同窓生美術展(同7月上旬、豊田記念会館)▽同窓会総会(8月11日、倉吉シティホテル)

同窓会活動協力金寄付者一覧

(令和3年4月1日～9月17日 敬称略)

- S20 太田隆光 S22 種子真一
- S24 中本一介 S25 提嶋清 S
- 26 御古明郎 S28 大久保良顯
- 中野博保 川上祐一 秋山信
- 孝 S29 南場優 橋田幹雄 S
- 31 鈴岡孝太郎 有福上 森田
- 秀雄 大嶋清美 S32 廣田九
- 徳 田中鍛 渡邊俊子 S33
- 梅田三喜子 山下博 石田裕
- 通 石川郁子 村岡洋次 山脇
- 榮一郎 S34 江崎寿雄 岡崎坦
- 今西玉江 小寺春恵 門脇公
- 雄 黒川里津子 豊嶋賢二 早
- 川玲子 上山寛光 池口滋 大
- 谷道江 桑田紀代 小橋士郎
- 山村鉄郎 牧野紀史 相見楓
- 子 信田昭弘 福嶋知恵子 宮
- 本睦子 S35 山根邦重 徳岡大

- 勝 穂近三郎 田中洋一 田中
- 聰子 S37 天野敏光 流田正義
- 宮崎和正 S38 松本幸雄 紙
- 徳豊 林原捷治 斉藤俊子 足
- 立京子 S39 大西幸江 村尾妙
- 子 森野幸子 西澤功 田中賢
- 治 吉野勇雄 橋本和男 橋本
- 壽久 竹村千晶 S40 市下哲夫
- 徳田正 田中雅巳 S41 杉山京
- 子 染川磯一 伊藤正子 橋本
- 和憲 山崎盈二 吉井健児 高
- 力賢一 杉信民子 小橋美由紀
- 吉田哲夫 高塚俊蔵 S42 灘本
- 憲夫 佐藤学 那須典久 竹本
- 紀穂 中井知子 S43 高尾くみ
- 子 八幡伸八 谷内貢 前田道
- 明 鈴木伸子 岡崎功 浪花良
- 孝 S44 馬野博志 行成久子

- 堀ちづる 濱垣治郎 桑崎俊文
- 長尾麻里子 佐伯恵美子 佐伯
- 健二 竹内良子 小谷敬恵 山
- 根正二 野口ひろ恵 西本恭博
- 岩田典子 仲倉洋子 福井敏光
- 長谷川妙幸 田中精一 坂本正
- 美 S45 長谷川和文 平野宏幸
- S46 黒田俊一 紙本克美 岡田
- 茂実 前畑宏志 中川康子 熊
- 本俊龍 福田恭子 竹森毅 岡
- 本恒之 四門隆 S47 白髪智文
- 岸田幸子 椿千枝美 野坂裕一
- S48 種子俊彦 笠見和則 長棟
- 信泰 中前雄一郎 伊藤喬 大
- 本裕之 S49 横山尚登 浪花敏
- 夫 矢積裕子 廣芳洋一 山田
- 政則 S50 茂住豪一 菅原久宗
- 山根健智 吉村賢一 S51 河野
- 加津子 西原信男 伊藤裕章
- 田中祥一 小谷敬子 小松弘明
- 小松康子 S52 中村珠枝 竹中
- 哲喜 倉繁良文 S53 穴戸靖雄
- 田中博幸 澤田光康 三浦敏伸

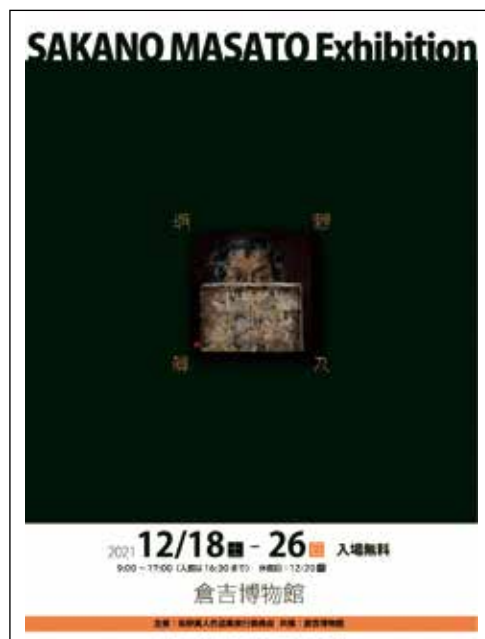
- 種子晋司 井川敦雄 西村敦郎
- S54 門脇博 門脇文生 稲毛靖
- 本庄政文 S55 梶本広康 久保
- 田敦美 岡本亘 S56 原田昌和
- 伊達浩二 S57 齋尾紀幸 村岡
- 亜樹 S58 竹内善一 S59 山本
- 浩一 S60 盛山剛 高山淳
- S61 松村成喜 S62 鳥飼敏博 田
- 中丈久 S63 陰山恵 大前直美
- H1 横山演章 小林秀二 H2
- 倉本秀樹 山根隆治 H3 真也
- 加玲世 堀尾典臣 H4 中原大
- 輔 松田麻希子 H8 西田卓也
- H11 秋山佳栄 澤住望 H13 中
- 原浩之 山田哲也 H15 山田良
- 二 H17 山田啓文 H27 足立由
- 真 西川僚 R2 坂口佳久 R
- 3 横山百恵 深田健太
- 卒業生以外 上田江三子 伊
- 東秀子 山崎達雄 亀井敬子
- 奥本輝子

同窓会本部 支部連絡先

近くの支部へ連絡を取って仲間に入ってください。

- ▷本部 (佐伯健二会長) 北栄町由良宿291-1、鳥取中央育英高校内 ☎0858 (37) 3211
- ▷関東支部 (木村由紀雄支部長) 千葉県流山市東深井885-39、染川方 ☎047 (153) 7596
- ▷関西支部 (竹本紀穂支部長) 向日市上植野町地後13-1-601、山下方 ☎075 (935) 0053
- ▷倉吉支部 (横山尚登支部長) 倉吉市福庭町1丁目532-16 ☎0858 (23) 9434
- ▷三朝支部 (中信貴美代支部長) 東伯郡三朝町思地217 ☎0858 (43) 1098
- ▷東郷支部 (山田政則支部長) 東伯郡湯梨浜町藤津214-6 ☎0858 (32) 1672
- ▷大栄支部 (田中精一支部長) 東伯郡北栄町由良宿175-1 ☎0858 (37) 3751
- ▷東伯支部 (伊藤喬支部長) 東伯郡琴浦町下伊勢527-4 ☎0858 (52) 2532
- ▷赤碕支部 (宇田川隆良支部長) 東伯郡琴浦町赤碕1923-8 ☎0858 (55) 0604
- ▷西部支部 (金田健司支部長) 米子市上福原1373-8 ☎0859 (32) 9103

「坂野真人作品集・作品展」のご案内



作品展のポスター

「坂野真人作品集」実行委員会
委員長 磯江 哲昭

みなさん、坂野真人先生をご存知ですか。

坂野真人先生は、県立由良育英高校で美術教師として24年間（昭和42年～平成3年）生徒の指導に当たりました。美術の授業を受けた方や担任をしてもらったという方もいらっしゃるでしょう。教え子の中には、中学・高校の美術教師になった方や作家として活躍している方も多数おられます。皆さんご存知の「名探偵コナン」作者である、漫画家の青山剛昌氏もその一人です。

その坂野真人先生が、来年「傘寿」を迎えるにあたり、教え子たちが相はかり「坂野真人作品集」を出版し、「坂野真人作品展」を開催することにしました。

この作品集は、数多（あまた）の作品から150点を厳選したもので、見ごたえ十分です。ぜひ手に取ってご覧ください。また、作品展会場では、実物をじっくりと鑑賞していただきたいと存じます。

「坂野真人作品展」令和3年12月18日（土）～12月26日（日）倉吉博物館 入場無料
「坂野真人作品集」作品展会場にて販売開始

※実行委員会では1口3,000円で協賛者を募集しています。（11月30日まで）
協賛していただける方は下記までご連絡ください。

「坂野真人作品集」実行委員会 事務局長 横山 尚登

事務局専用 携帯電話 090-8004-4308 Email 2021sakano.m@gmail.com



〈静物〉
アクリル／キャンバス／F50



〈寂心〉
アクリル・金箔／キャンバス／S30
鳥取看護大学所蔵



〈海〉
アクリル／キャンバス／S3

坂野 真人
プロフィール

昭和40年 市立金沢美術工芸大学美術科油絵専攻卒業

昭和42年 県立由良育英高等学校勤務（～平成3年：24年間）

平成3年 県立倉吉東高等学校勤務（～平成16年：13年間）

※県立倉吉西高等学校、県立倉吉農業高等学校も兼務

作家として、二紀展、鳥取県美術展、倉吉市美術展、砂丘社展、ヴェュVue展などに出品し、各展覧会で高い評価を得ました。また、鳥取県美術家協会理事、倉吉博物館協会理事、各展覧会の審査員、運営委員を務めるなど、鳥取県の芸術振興に貢献しました。

支部めぐり

(2)

関東支部

角盤会(関東支部)総会

2年連続中止のショック!



支部長 木村由紀雄

人生何が起くるかわからない、とはこのことか。新型コロナウイルスの蔓延によって、角盤会総会を2年連続して中止する羽目になってしまった(他の支部も同様であったと思うが)。言葉も出ないような大ショックである。

昨年2月、横浜港に帰還したクルーズ船内でコロナ感染者が発生し、大騒ぎになった時は、まだひとごとの感じだったが、東京から全国各地へ、感染が広がってくると、さすがに恐ろしさを感じるようになってきた。角盤会では6月の総会前の3月初めに幹事会を開くのが例年のスケジュールであったが、昨年3月頃は連日のように多くのイベントの延期、中止の話ばかりといった有様で、ついには当

時の安倍首相が全国の小・中・高校に対して春休み前に臨時休校とするように要請するまでになった。角盤会も幹事会の延期の連絡を繰り返したが、ついに4月に入って中止を決定、同時に総会そのもの中止を決めた。

総会中止を決断した時は、日本国中が何もかも中止(選抜高校野球大会の中止は、まさかという気持ちであったが、東京オリンピックが1年延期となった時はもう驚きはなかった)という状況であったので、事務局長から会員の皆さんに中止の葉書を送り終えたという連絡があった時は、若干の虚脱感に捉われた。

そして、今年、2021年は1年延期された東京オリンピックの年である。今年には総会を開くぞ、という気持ちで新年を迎えたが、コロナは2波、3波とやってきて、なかなか収束しない。世の中のイベントは、引き続き中止、延期のオンパレードである。角盤会も年明け後、割合早くに幹事会は中止、3月には総会の2年連続中止を決めた。その際、母校同窓会本部の佐伯会長に報告し、了承を求めた。会長から他の支部もほとんどが中止のようだ、と教えてもらい、何となくほっとした気分になった。会員の皆さんには2年続けて総会中止の葉書を送ったが、会

長として2年以上も幹事の皆さん、会員の皆さんとは会えていないというのは、異常事態というほかに、申し訳ない気持ちである。

歴史を振り返ってみると、大正年間にも全世界で猛威を振るい、日本でも30万人を超える死者を出したスペイン風邪は、2年間で収束した。スペイン風邪も2年目の方が、感染は深刻であったという。また、日本中のイベントが片っ端から中止になったのは、約80年前の先の大戦の時くらいのものである。

このようにみると、来年はポスト・コロナ、ウイズ・コロナの時代の開幕の年となるのではなからうか。そして、来年には必ずや角盤会総会を再開し、会員の皆さんにお目にかかって、コロナ禍を生き延びたことを喜び合いたいと念願している。

また、鳥取中央育英高校同窓会のすべての会員の方々、紙上を借りてではありますが、ご健勝のほどを心からお祈り申し上げます。

コロナ禍の静岡にて

村尾 妙子 (S39)

音楽の仕事を選んで、静岡に住み音楽教室を開いてきて半世紀。

長い間音楽で触れ合ってきたレッスン生たちの成長をうれしく頼もしく思い、コーラスグ

ループを持って声いっぱいハイモニーを楽しむ喜びを感じていただくことが、今では私自身の心の励みにもなっております。

ところが、昨年世界中での新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が発令され、テレビニュースなどでも感染者の



音楽活動を続ける村尾さん

てしまい、大変悲しい思いをしました。振り返ってみますと、コロナ禍以前には、毎年3、4回は故郷(北栄町)へ帰り、15年前からは母校の同級、同窓の友人、知人の方々の応援で何回か歌のコンサート(風車とコナンの街コンサート)を企画して

いたっていました。友人達と楽しく語り合い、故郷の美しい景色と空気をいっぱい感じ、それが私の頑張りエネルギーにもなっておりますが、現在はまだ帰郷できる状況ではなく大変残念に思っています。

しかし、これからは感染対策に今まで以上に注意をし、一人一人の我慢と自粛を守り、コロナウイルス緊

増加、重症になる恐ろしさ、医療従事者の過酷な仕事、御苦労、医療の逼迫と大変心痛む報道もされて、こんな不安な事が起きるのかと驚きの日々を過ごしております。

世界中のすべての人々が、あらゆる事への行動制限を余儀なくされ、私自身の大切な表現活動の場でもある仕事も同様、演奏会も発表会なども中止に至っ

急事態宣言の波を乗り越えねばなりません。その後に必ず見えてくる明るい光に向かって、日常生活を取り戻せるようにと祈りつつ、故郷にも帰れる日、同窓の皆さまとも元気な笑顔でお会いできる日、人間らしく人と人とのコミュニケーションができる日が、一日も早く戻るようにと願っています。

日本文化の伝承



三木 正道 (北栄町) 今、高校時代を思い返せば、

音楽部での出来事ばかりのように思う。日々の練習、コンクールやコンサート、全国高校文化祭での遠征など良い思い出です。現在も音楽活動は続けてい

ますが、楽器を吹奏楽のトランペットから雅楽の笙に持ち替え、近年、小・中学校で日本の伝統的音楽として特別授業に行くことも増えてきました。雅楽は、世界最古のオーケストラと言われ、管楽器、弦楽器、打楽器から構成されており、歴史は古いのですが生演奏を聞くことは、滅多にないので、子ども達にも新鮮なようです。この一年は、コロナ禍のため授業には行けませんが、昔から伝わっている日本文化の素晴らしさを子どもたちに感じてもらえたらうれしく思います。

国体準優勝の思い出

福井 雅人 (倉吉市)

高校時代はソフトボール部に所属し、2年生の秋に滋賀国体に出場したことが思い出に残っています。顧問の河野先生が鳥取県チームの監督として指揮をとられ、由良育英、倉吉東、八

頭の3校の混成チームでした。興和紡倉吉工場や高知県遠征などの合宿を経て、初戦の地元滋賀県チームに勝った勢いで決勝



熊本県に敗れはしましたが、準備ができていた。当時のチームの仲間とは今でも早朝野球で一緒に汗を流したり、ゴルフのラウンドで楽しんでます。

今から30年前の26歳の時にUターンし、保険の仕事を始め、現在は倉吉市内で保険代理店を運営しています。仕事柄、同級生や先輩、後輩とお会いすることも多く、その度に高校時代を懐かしく思い出します。

これからは仕事以外にもNPO活動などを通して地元にも少しでも恩返しができるかと考えております。

茶道を通じて



水谷由美子 (旧姓・手嶋) (倉吉市) 社会人になっ

た時から茶道を続けてきました。思えば40過ぎまで仕事や子育てにかまけて決して熱心とは言えず、師匠曰く「怠けた弟子」

でした。それでもやめずに続けてきたのは、自分に足りない何かに気付ける様な気がしていたからだと思えます。そしてそれは後々の中していくことになるのでした。

子ども達が進学して家を巣立ち、気持ちに余裕が生まれた頃から「真面目な弟子」に変身しました。様々な役目を戴くにつれ予想通り自分の「未熟さ」を痛感し、内面の修練に結びついていきました。師匠をはじめ諸先輩方との関わりの中、温かく時に厳しく育てていただき、感

人物風土記 (8)

S58 由良育英の巻

※今回のまとめ:
竹内善一氏

謝の念に堪えません。当然未だ道半ばではありませんが、現在学校茶道で、こども園と高校に指導に行っており、幅広い世代との関わりを楽しみつつ、少しでも茶道の良さを伝えられるよう、学びの日々を送っております。

英国にて故郷を想う

中倉 美恵 (ロンドン)

ロンドンに居を移して早26年になる。いまだ文化・宗教的背

景の違いに戸惑いながら、仕事や私生活において順風満帆とはいえないまでも、粛々と暮らしている。



この26年間の大きな楽しみといえ、年に1度2〜3週間の休暇を取って北栄町の実家に帰省し、由良育英高校の同級生数名と集い、昔話や近況を語り合うこと

だったが、コロナ禍の影響で2020年の1月から日本へは帰れず、同級生との交流はもっぱらオンラインとなっていました。英国では現在までにコロナ感染者7百万人、死者13万人と報告されているが、3度の厳戒なロックダウン対策、ワクチン接種の普及により、徐々に「コロナと共存していく生活」を通常化させようとしている。

定年後は北栄町へ戻り、同級生と時間制限なく交流を深めることを夢見て、この国で日々故郷のこと想いながら、日本でも迅速にワクチン接種が進み、人々が自由に行き来のできる環境になればよいと切に願っている。

これからもずっと...

吉川 瑞穂 (旧姓・井上) (湯梨浜町)

高校時代の気の置けない友人3人との付き合いも気づけばアラフォー。遊びに出かけたり、家族ぐるみでキャンプを楽しんだり、子育てが落ち着いた後はゆつくりとおしゃべりしたり。久しぶりに会っても、気持ちが安らぐ心地よい関係。話題も家族のことや子育てのことから親の介護、体調のことへと歳を重ねるとともに変わってきました。高校時代からちよつとというかだいたい大人になっているけれど、変わらず続いていることを嬉しく思います。

近年は健康維持を兼ねたウォーキングやヨガと一緒に楽しむことが多かったのですが、昨年からコロナ禍でままならず、会うことも難しくなりました。そんな時でもマスク不足で困っていると話をしたら、すぐに手作りのマスクを送ってくれました。

当たり前のことが当たり前でなくなってきたこの時代に、いざという時に助けてくれる友が近くに居る嬉しさや心強さは、高校時代の貴重な出会いから始まっていることに感謝し、これからも大切にしていきたいと思っております。

夢をあきらめないで



山根勝寿 (S58)

早いもので、高校を卒業して40年。現在、企画製造した木製家具を全国の家具屋さんなどに販売しています。苦悩の繰り返しですが、自分たちが企画した家具が全国のお客様に使っていただき、生活の一部として溶け込んでいることに喜びを感じながら充実した日々を送っています。

高校時代は野球部に所属。「めざせ甲子園」ということで、野球に明け暮れる毎日でした。さらには育英高校体育コース2期生にもあたり、授業でもスポーツに関わることが多



憧れの甲子園大会へ出場 (2019年)

自分を信じて今を精一杯楽しんで下さい。(榎新木コーポレーション・専務取締役)

仲間意識も高くとても楽しかったです。いまだに担任の先生も交えて集まったりしています。高校時代に甲子園の夢は叶いませんでしたが、現在マスターズ甲子園という大会で、2019年に県大会優勝し、憧れの聖地甲子園の土を踏むことができました。卒業間もない若手から私達年配まで世代を超えた選手が、同じベンチでひとつの目標に向けて戦うという貴重な体験をさせていたいです。

西から東から、会員は今

地域の一経済人として



中原裕之 (S58)

育英在学中は音楽部に所属。当時は部員数50名を超える大所帯で中国大会にも毎年出場。成績はさておき遠征が修学旅行のようで、とても楽しかったのが忘れられない。

卒業後は、家業の設備会社を継ぐため2年間専門学校に通い、その後米子の設備会社で5年半勉強させていただいた。平成2年、父の経営する中原設備商会へ入社し、34歳の時に社長

野球部で培った精神力



山本 明 (H15)

卒業してからまもなく20年を迎える歳になりました。在学中は硬式野球部に所属し、今でも当時の練習や試合で培った精神力で、現在のコロナ禍でも前向きに生活することができています。

私は、鳥取県代表名物ふろしきまんじゅうを製造販売する、(有)山本おたふく堂の長男として生まれ、大学で経営・経済学を

就任し現在に至る。

その間山あり谷あり、多くの人と出会い、様々な体験をすることが出来た。とりわけ40歳まで在籍していた青年会議所は親しい先輩からの誘いで入会したのだが、そこでの学びが後の人生の指針となっている。

地元でも著名な経済人ばかりの諸先輩方から本当に厳しく社会人、経済人としての知識・心得を叩き込まれた。この体験が無ければ今の自分は無かつたと断言できる。この体験を自分だけのものとするのではなく、地域に還元し社会のお役にたてるよう、今後も精進していく所存です。(北栄町)

学びました。

いわゆるコロナショックにより、体験したことのない経営状況に見舞われましたが、ある種の見直しやあらゆる効率化を図り、新たな試みにもトライ出来るきっかけになりました。現在の山本おたふく堂があるのは、紛れもなく地元の皆様のおかげです。

旅行規制や、なかなか帰省できない人が久しぶりにふろしきまんじゅうを口にした時に、笑顔で美味しいと言ってもらえるよう、この時代を乗り切つて次世代に繋げていこうと思えます。(東伯支部)

2年連続県展賞の快挙

山下聖二さん (S52)

開催中の第65回鳥取県美術展覧会の絵画部門で、山下聖二さん (S52卒、北栄町、行動美術協会会友) が昨年に続いて最高位の県展賞を受賞した。

「刻21、閉ざされた世界」と題す

る抽象画=写真=。審査委員から「完成度の高い作品」と抜群の講評を得た。

山下さんは「県展は30数年間出展しており私の発表の場。それだけに、うれしいです。今後も精進していきます」と喜びを語る。

県展倉吉会場 (洋画など) は11月6日から13日まで倉吉博物館で。



由良育英高校を卒業して

私が育英を卒業してはや44年になりました。いろいろな事を経験し、現在は、小さいながらも会社の社長をさせていただいております。

育英同窓会におきましても今年から赤碓支部の副支部長という大役を仰せつかっております。これもひとえに高校時代は大変お世話になりました生田先生、また卓球部顧問の市橋先生（故人）、諸先輩方、今でも大変仲良くお付き合いしている同級生のおかげと思っております。



澤田光康 (S53)

昨今育英の入学生が少なくなっているというところで、心を痛めているところであります。何人かの卒業生を私共の会社で採用させていただいておりすが、もつと育英から我が社に入社してもらいたいと思っております。

最後に、鳥取中央育英がもつと繁栄することを願っております。微力ながらも協力をさせていただきます。ありがとうございました。

(赤碓支部)

会員は今、西から東から

コロナ収束の折には



山下善正 (S44)

桜の花が美しい由良育英を卒業して52年、銀行を退職し地元診療所に務めています。高齢の患者さんに接すると健康であることの大切さ、ありがたさを痛感し、ウォーキング等で体力維持に頑張っている。

一昨年からコロナ禍により

児童駅伝大会を開催



造酒幸雄 (S56)

高校時代に駅伝のタスキリレーに魅了され、この駅伝の魅力を子ども達に体験してもらいたくて、平成14年に県内小学生を対象にしたミニ駅伝大会を立ち上げ、一昨年まで三朝町内で開催してきました。

当初は中部地区の十数チームが参加する小さな大会でした

仕事や生活が大きく変わり、コロナ感染防止対策やワクチン接種対応で忙しく、また外出制限、外食禁止、集団での行事等が来ず、ストレスがたまるばかりです。

最近、歳のせいかわかり、高校での楽しかったことや同級生の顔思い出して「元気かな？」と気になってる。

6年前、65歳の時に学年同窓会で約百名が集まり、高校時代に若返り大いに盛上った。そのとき、次は「古希祝賀同窓会」を開催すると決めていたが、コ

ロナ禍により延期となったままで残念です。

前号の同窓会報で、S44年学年同窓会事務局の篠原重義君が言っていたように、コロナが収束すればぜひ「古希祝賀同窓会」を開き、懐かしい仲間が一堂に会し、歳を重ねた者が歳を忘れ、若返って大いに語り合えれば良いなと思います。

また、当然に次の「喜寿祝賀同窓会」もやるんだという意気込みで、健康に留意したいと思います。

(大栄支部)

高校野球への恩返し



山根隆治 (H2)

由良育英を卒業して早いもので30年の月日が過ぎた。進路先として「理学療法士」の道を選んだのは、私自身野球部在籍中に「腰椎分離症」という腰痛に悩まされていたからである。

新潟県にある国立病院附属養成校卒業後、現在勤務している三朝温泉病院に就職し、日々患者さんの治療にあたる一方で看護大学での授業をはじめ地域で開催される健康教室・腰痛教室など年間30コマを超える講演活動も行っている。

高校時代、野球の成績において自慢できるようなものはないが、生きていくうえで核となる大切な部分はその時の教えにあったと感謝しております。現在高校野球大会中はメデイカルサポーターとして、また高校球児を目指す小・中学生へは怪我をしない身体の使い方を指導など、私なりに恩返しの日々を送っている。

(倉吉支部)



いまや100チーム参加の大会に

今春着任の教職員を

紹介します

①教科・役職 ②部活 ③育英高校に着任して感じたこと

(敬称略)

岡垣 祐二



①数学②バレーボール③中部地区4校目の赴任となる本校で早

くも半年が経とうとしてい
ます。エネルギーが豊富な生徒と充
実した施設の中で働けることに
喜びを感じています。また、バ
レーボール部の顧問として、生
徒の成長を支えることができたと
らと思っています。よろしくお
願いいたします。

岡本 巨 (S55)



①保体②陸上③5年ぶりに母校である鳥取中央育英高校に勤めることになりました。以前17年間勤務し、全国高校駅伝など全国大会に行かせていただいたことが思い出に残っています。久々に育英の生徒を身近で見ることが、部活や勉強などいろいろな面で自信とプライドを持つて取り組み、より高い目標に向かって頑張りたいです。

完田 節子 (H12)



①事務次長③私自身同窓生であり、生徒だった時には先生方のご苦労や同窓会の方々のご協力など、全然見えていなかったものだとしみじみ感じています。事務職員として学校運営に関わり、まだまだ事務室の方や先生方に助けてもらいながらではありますが、より過ごしやすい学校になるような仕事がしたいと思っています。

石井 栄行



①主事②育英には、H24、27の4年間事務長として勤務していただきました。そしてこの度は、再任用職員としてお世話になっておりますが、事務室での担当事務にもようやく慣れてきたかなと自分では思っています。立場が変わったので勤務となりますが、少しでも学校の役に立つよう微力を尽くせたらと考えています。

吉本 桂樹 (H17)



①給食調理員③インナーハイをはじめ、様々な大会の結果を聞くのと、寮生の活躍が感じられ、とても嬉しく思います。生徒の皆さんの「おいしかったです」という声を励みに、これからも頑張つて寮生の食事をつくりたいです。

齋尾 博幸 (S54)



①国語③8年ぶりに母校に勤務することになりました。育英の生徒は変わったのかなと、少々、不安を抱きながら学校に来たのですが、以前と変わらぬ、元気のある姿、授業に集中する姿に接し、嬉しく思っています。よき伝統を引き継いでいけるように頑張りますので、よろしくお願いたします。

坂口 海斗



①地公②バドミントン③育英高校に着任して感じたことは、生徒のコミュニケーションスキルの高さです。毎日たくさん生徒が会話をしてくれれます。現代の社会人のスキルとして、とても役立つもので、社会人になる前の最終ステップとして、さらに様々なスキルを身につけてほしい

いと思っています。生徒のみならず
私自身も成長していきます。

山本 典尚



①数学②サッカー③育英高校に着任して、生徒のパワーを強く感じました。勉強や部活動など自分のやりたいことに一生懸命向かう生徒たちの手助けをしていけたらと思っています。また、そんな生徒に後押しされて自分自身も生徒とともに様々なことに挑戦して行きたいと思っていますので、よろしくお願いたします。

小矢野 裕子



①英語②野球③私はこの学校で「ポランテティアサークル」の担当をしています。今年度から立ち上げた登録制のサークルですが、全校で70名を超える登録がありました。コナン駅前の草取りや保育体験など、様々なボランティア活動を通して、生徒たちの中に地域貢献の心が育っているのではないかと期待しています。

杉川 友規 (H22)



①地公②ソフトテニス③久しぶりに母校の育英に帰ってくることで、在籍当時もお世

話になった遠藤パンを食べられること、思い出の詰まった校舎で日々働けることに喜びを感じています。後輩の生徒たちとともに今度は教員として育英がこれからも発展していけるよう頑張ります！

西田 太郎



①国語②ソフトボール③育英高校に赴任して半年。私のお気に入りには、敷地内の緑の多さと、全教室に掲げられた「克己」の文字、そして素直な反応を返してくる生徒達の姿です。生徒達の反応を自らの姿の鏡とし、昨日とは違う自分であり続けるという克己の精神をもって、置かれた場所で咲く花のように育英高校での日々を過ごしたいと思っています。

林 康平



①保体②野球③鳥取中央育英高校に着任して強く感じたのは、各部活動の盛り上がりです。それぞれの部が鳥取県大会、さらにその先の全国大会において好成績を収めているのがとても印象強いです。私が顧問をしております硬式野球部も日々甲子園出場を目指し取り組んでいます。早く皆様に良い報告ができるよう精一杯指導に当たります。

まんが化進む小説『ばんとう』 母校美術部生徒が担当



主人公の豊田太蔵氏はやわらかい印象に

北栄町教育委員会、鳥取中央育英同窓会、鳥取中央育英高校が連携し、松本薫さんの小説『ばんとう』を漫画化する取り組みが行われています。
本校美術部も依頼を受け、7月から作画を開始しました。担当している原画は、ほぼ完成し、ただ今、漫画の表紙を作成中です。12月末には、すべての制作をいったん終了し、最終の手直しが始まります。令和4年3月には2千部を出版、北栄町内の学校や公共施設に配布されます。

○どんなイメージでキャラクターづくりをしましたか。
「写真や資料が残っている人物は、印象や特徴をキャラクターにできるだけ反映させることに力を入れました。特に主人公の豊田太蔵氏は、丸い輪郭でやわらかい印象をもたせました」
○漫画家(ラ・コミック代表・寺西竜也さん)のアドバイスを聞いてどうでしたか。
「実際にある物を見るこ



寺西さん(左)から指導を受ける前さん(右)と長谷川さん(中央)

美術部の前美里さん(3年)、長谷川万桜さん(同)へお話を伺いました。

インタビュー
前 美里さん(3年)
長谷川万桜さん(3年)

とで、雰囲気をつかんで描くことができる」というアドバイスをいただき、役場の方や同窓会の方とともに北栄町のゆかりの場所をめぐりました。解説を聞きながら当時の生活風景を想像

「ストーリーにあった表情をキャラクターに描くことが大変でした。また、登場人物が多く、それぞれの個性をあらわすことに苦労しました。ですが、描く人物が多いぶん、この地域に学校を設立したいと強く望んでいる人が多くいたことが伝わってきました。その強い思いを文字だけでなく漫画で表現していく大切さがわかりました。まだ制作中ですが、楽しみに待っていてください」

し、イメージを膨らませることができました」
○実際に描いてみてどうでしたか。
楽しみに、待っていて

(8面から続き)
P T A 活動について
P T A 会長 丸 直美
現在、多くの人がコロナ禍により活動を制限され、歯がゆい思いをしているのではないのでしょうか。鳥取中央育英高校の P T A 活動においてもそれは例



外ではなく、例年に比べてあまり活動ができていません。今回は、例年であれば行っていた活動について紹介いたします。まず、7月に育英祭が開催されますが、その時に焼きそばやカレーを作って販売しています。当然、収益度外視なので、購入品の元が取れる程度の格安な値段設定です。屋台のように鉄板で焼くため味も好評です。

次に下校時間に学校より由良駅周辺を年数回見回りしています。また、P T A 間のつながりを強めるために P T A スポーツ交流会でキンボール等をして汗を流したり、近隣の大学に見学研修に行ったりと年間を通して様々な活動を行っています。以上が活動の一部ですが、冒頭でも記載しました通り、ここ2年間は活動自体が制限され、

生徒と触れ合えるような活動は残念ながらできていません。最後に、P T A 活動を含め皆さんの活動全てが一日も早く元通りになりますように。
(※キンボール・直径122センチ、重さ1キロという巨大で軽いアドバルーンのようなボールを床に落とさないよう、チームで協力し合う競技であり、キンボールスポーツといわれる)



焼きそば作り(育英祭'16)

2021部活

(4~8月)

陸上部

- 県選手権大会兼国体選手選考会
 - ◇男子
 - ▽200m②植松瑞希③横山千尋▽110m障害③浜本琉聖▽400mリレー②A(川本・宮本・横山・植松)▽1600mリレー②A(香川・吉田・石川・岡田)▽走り高跳び③平岩優▽三段跳び②平岩優
 - ◇女子
 - ▽100m②亀山うらら▽800m③前田愛菜▽100m障害②福嶋ひなた▽400mリレー①(野津・福嶋・佐々木・亀山)
- 高校総合体育大会
 - ◇男子
 - ▽100m①宮本一樹▽200m②宮本一樹③植松瑞希▽400m③香川晏司▽800m③鳥越淳志▽110m障害②浜本琉聖▽400mリレー①(川本・宮本・横山・植松)▽1600mリレー②(香川・吉田・石川・井上)▽走り高跳び②平岩優▽三段跳び①平岩優
 - ◇女子
 - ▽100m②亀山うらら③佐々木真歩▽200m③野津七海▽100m障害①福嶋ひなた▽400mリレー①(野津・福嶋・佐々木・亀山)▽砲丸投げ③福井瑠夏
- 中国高校対抗選手権大会
 - ◇男子
 - ▽100m③植松瑞希⑧宮本一樹▽200m①植松瑞希▽400mリレー①(川本・宮本・横山・植松)▽三段跳び⑦平岩優
 - ◇女子
 - ▽100m⑧佐々木真歩▽100m障害①福嶋ひなた▽400mリレー②(野津・福嶋・佐々木・亀山)

□全国高校総体

- ◇男子
 - ▽100m 出場 植松瑞希▽200m 出場 植松瑞希▽400mリレー 準決勝進出(川本・宮本・横山・植松)
- ◇女子
 - ▽100m障害 出場 福嶋ひなた▽400mリレー 準決勝進出(野津・福嶋・佐々木・亀山)

□中国五県対抗選手権大会

- ◇男子
 - ▽200m④植松瑞希▽400mリレー⑧(香川・吉田・横山・宮本)
- ◇女子
 - ▽100m⑥亀山うらら⑦佐々木真歩▽100m障害③福嶋ひなた▽400mリレー①(野津・福嶋・佐々木・亀山)

ソフトボール部

- 中国高等学校男子選手権大会県予選会②
- 中国高等学校男子選手権大会③
- 県高校総体②

バレーボール部男子

- 県高校選手権大会
 - ▽決勝=鳥取中央育英2-0米子工業
- 県高校総体
 - ▽決勝=鳥取中央育英2-0米子工業
- 全国高校総体
 - ▽予選グループ戦=鳥取中央育英2-0南砺福野(富山)▽決勝トーナメント1回戦=鳥取中央育英2-0城東(徳島)▽同2回戦=鳥取中央育英0-2東福岡(福岡)



鳥取育英 決勝Tへ

全国高校総体バレーボール男子部。鳥取中央育英は、予選リーグ戦で、全試合無失点の活躍を見せ、決勝トーナメントに進出した。決勝トーナメント1回戦は、南砺福野(富山)と対戦し、2-0で勝利した。決勝トーナメント2回戦は、城東(徳島)と対戦し、2-0で勝利した。決勝トーナメント準決勝は、東福岡(福岡)と対戦し、0-2で敗れた。結果、決勝トーナメント準々決勝に進出した。

分析と対策で快勝

鳥取中央育英は、決勝トーナメントに進出した。決勝トーナメント1回戦は、南砺福野(富山)と対戦し、2-0で勝利した。決勝トーナメント2回戦は、城東(徳島)と対戦し、2-0で勝利した。決勝トーナメント準決勝は、東福岡(福岡)と対戦し、0-2で敗れた。結果、決勝トーナメント準々決勝に進出した。

◀全国高校総体決勝Tで県勢20年ぶりの2勝(日本海新聞)

□中国高校選手権大会

- ▽学校対抗戦=②▽個人対抗戦51kg級=②渡部琉海同55kg級=①鳥目裕太▽同60kg級=③朝倉理輝▽同80kg級=③松村康平▽同92kg級=①磯江大成
- 全国高校生グレコローマン選手権大会
 - ▽92kg級=⑧磯江大成
- 全国高校総体体育大会
 - ▽学校対抗戦=鳥取中央育英1-6鹿屋中央高校(鹿児島)▽個人対抗51kg級=ベスト16 渡部琉海▽同55kg級=③鳥目裕太▽同60kg級=1回戦敗 朝倉理輝▽同65kg級=2回戦敗 磯上遥也▽同80kg級=1回戦敗退 松村康平▽同92kg級=⑤磯江大成

水球部

- 全国高校総体
 - ▽2回戦=鳥取中央育英13-11西京高校(山口)▽準々決勝=鳥取中央育英13-8前橋商業(群馬)▽準決勝=鳥取中央育英7-19四日市中央工業(愛知)▽3位決定戦=鳥取中央育英18-6鳥羽(京都)※17年ぶり3位入賞
- 国民体育大会中国ブロック大会
 - ◇少年男子(鳥取中央育英高校単独)
 - ▽鳥取県8-16山口県(西京高)▽鳥取県25-0鳥根県(江津高)コールド勝ち▽鳥取県17-10岡山県(関西高)▽鳥取県20-5広島県(県選抜)※結果2位(三重国体出場権獲得)
- 中国高校選手権大会
 - ▽予選リーグ(Aブロック2位通過)=鳥取中央育英27-0江津(鳥根)▽鳥取中央育英15-1広島学院(広島)▽鳥取中央育英4-7西京(山口)▽決勝トーナメント準決勝=鳥取中央育英20-9関西(岡山)▽決勝=鳥取中央育英8-16西京(山口)※結果2位(全国高校総体出場)



福嶋ひなた 大会新記録

植松瑞希 200mで頂点

ハイレベルな後継者

鳥取中央育英は、予選リーグ戦で、全試合無失点の活躍を見せ、決勝トーナメントに進出した。決勝トーナメント1回戦は、南砺福野(富山)と対戦し、2-0で勝利した。決勝トーナメント2回戦は、城東(徳島)と対戦し、2-0で勝利した。決勝トーナメント準決勝は、東福岡(福岡)と対戦し、0-2で敗れた。結果、決勝トーナメント準々決勝に進出した。

鳥取中央育英は、予選リーグ戦で、全試合無失点の活躍を見せ、決勝トーナメントに進出した。決勝トーナメント1回戦は、南砺福野(富山)と対戦し、2-0で勝利した。決勝トーナメント2回戦は、城東(徳島)と対戦し、2-0で勝利した。決勝トーナメント準決勝は、東福岡(福岡)と対戦し、0-2で敗れた。結果、決勝トーナメント準々決勝に進出した。

▲中国高校選手権陸上100メートル障害で福嶋ひなたが優勝(日本海新聞)

母校からの便り

インタビュー

レスリング部主将 鳥目 裕太

インターハイという全国規模の大会で、1年生では1回戦負け、2年生ではコロナによって中止になり、なかなか結果を残すことができませんでした。高校生最後の集大成として、自分の力をすべて出し切つて3位に入賞できたことは、素直にうれ



信頼に応えた大黒柱 エースで主将の北中

鳥取育英水面に映える「銅」

全国高校総体水球大会(水球)で鳥取育英が3位入賞した。エースで主将の北中佑介が活躍した。大会は、鳥取育英が3位入賞した。エースで主将の北中佑介が活躍した。大会は、鳥取育英が3位入賞した。エースで主将の北中佑介が活躍した。

▲全国高校総体17年ぶり3位入賞(日本海新聞)

男子水球部主将

北中 佑介

この度は、多くの方から応援をさせていただいたおかげで、楽しく全力でプレーすることができ、インターハイで3位入賞することができました。本当にありがとうございました。僕たち水球部は、今後も全国の舞台での活躍、そして優勝という大きな目標を掲げ、日々の練習に励んでいきます。これからも応援よろしくをお願いします。

レスリング部

磯江 大成

高校最後の全国大会で5位という結果に終わってしまいました。悔しい結果ですが、これまでやってきた練習の成果がしっかりと出せた試合ができました。周りの方々のサポートや応援してくださった方々に感謝します。大学では、この悔しさを糧にさらに頑張ります。

しいという気持ちもあるし、これから大学でもレスリングを続けていく上での自信につながりました。今度は大学で大きな結果を残せるよう日々精進していきたいです。



たゆまぬ努力で新たな戦術

鳥目、会心涙の表彰台

鳥目裕太選手が表彰台に上り、涙を流しながら3位入賞を喜ぶ様子。周囲からは拍手喝采が送られた。

▲全国高校総体レスリングで鳥目裕太(右)が3位(日本海新聞)

男子バレーボール部主将

村岡 翼

僕たち男子バレーボール部はインターハイで鳥取県20年ぶりの全国2勝を成し遂げることができました。今年のチームは1年生の時からレギュラーとして試合に出場している人が多く、全国で勝負できるのは、今年しかない自分たちも思っており、周りからも期待されています。そんなプレッシャーもある中での全国2勝を自信に変え、僕たちの中の目標である全国ベスト8に向けて頑張りたいです。

(10面から続き)

山岳部

- スポーツクライミングジャパンカップ
- ◇女子
 - ▽スピード=④林かりん
- スポーツクライミング日本選手権亀岡大会
- ◇女子ユースA
 - ▽スピード=②林かりん
- 国民体育大会スポーツクライミング競技県代表選手選考大会
- ◇男子
 - ▽リード・ボルダリング=①高真颯 ③宮下大翔
- ◇女子
 - ▽リード・ボルダリング=①林かりん ②秦野由羽
- スポーツクライミング日本選手権南砺大会
- ◇ジュニア男子
 - ▽リード=⑩高真颯太

- ◇ジュニア女子
 - ▽リード=②秦野由羽
- スポーツクライミングJMSCAジャパンオープン盛岡大会
- ◇女子
 - ▽スピード=⑤多月萌々菜
- とっとりわかとりっこクライミングフェスティバル2021
- ◇男子ユースA
 - ▽ボルダリング=②松井律③吉川海 優
- ◇女子ジュニア
 - ▽ボルダリング=①秦野由羽
- ◇同ユースA
 - ▽ボルダリング=①林かりん
- 空手道
 - ◇中国高校選手権大会鳥取県予選会
 - ▽個人形=③光浪陽菜

- 県高校総合体育大会
 - ▽個人形=②光浪陽菜
- 全国高校総合体育大会
 - ▽個人形第1ラウンドG1=⑥光浪陽菜
- 新聞部
 - ◇全国高校総合文化祭和歌山大会
 - ※新型コロナウイルス感染症の感染防止のため出場辞退
- 音楽部
 - ◇県高校文化連盟音楽4部門別発表会
 - ▽独唱・独奏・デュエットの部=優良賞 岡田瑞菜(トランペット独奏)
 - ▽同=優良賞 角田風露(ホルン独奏)
 - ◇全日本吹奏楽コンクール県大会
 - ▽小編成部門=銀賞 鳥取中央育英・倉吉西合同

同窓会本部役員の任期は2年と定められており、ことし夏の総会で、新しい役員(会長、会長代行、副会長、監事)が選出されるはずでした。しかし、コロナ禍にあつて総会開催ができませんでしたので、9月9日開催の総会代替役員会で、次期総会(来年8月開催予定)まで現役員がそれぞれの任務を継続して果たすことにしました。役員・支

役員任期は次期総会まで

部長は次の皆さんです。

- 【本部】** 会長 佐伯健二 (S44) 会長代行 町田貴子 (S44) 副会長 飯田正征 (S41) 篠原重義 (S44) 前田永宣 (S44) 黒松悟司 (S47) 飯田綾子 (S49) 藤原静香 (S53) 田中安典 (H5) 監事 山下善正 (S44) 西村敦郎 (S53) 顧問 高垣知博 学校長 横山隆義 (S38) 盛山明 (S44)
- 【支部】** 関東支部長 木村由紀雄 (S38) 同事務局 染

- 川磯一 (S41) 関西支部長 竹本紀穂 (S42) 同事務局 山下勝雄 (S38) 倉吉支部長 横山尚登 (S49) 三朝支部長 中信貴美代 (S44) 東郷支部長 山田政則 (S49) 大栄支部長 田中精一 (S44) 東伯支部長 伊藤喬 (S48) 赤碕支部長 宇田川隆良 (S49) 西部支部長 金田健司 (S47)
- 【事務局】** 田中博幸 (教頭) 中原裕美子 (同) 森山雅代 (事務長) 生田進 (教諭) 杉川友規 (同)

「同窓会活動協力金」寄付のお願い

同窓会活動協力金は、所定用紙(右下写真参照)を使って郵便局で振り込みしてください。用紙のない方は郵便局の貯金窓口で、送金額(一口2,000円)を添えてお申し込みください。その際には、受取人(同窓会)の振替口座の記号・番号(01360-4・100061)を指定してください。郵便局のATM(現金自動預払機)も利用できます。協力金は、「晩登会奨学金」の基金など同窓会の活動に使わせていただきます。問い合わせは同窓会事務局(電話0858-37-3211)へ。

令和2年度 同窓会一般会計決算書

収入				単位(円)
科目	予算額	決算額	増減	摘要
入会金	1,514,700	1,504,800	△ 9,900	9,900円×152名
繰越金	1,139,400	1,139,400	0	前年度繰越金
繰入金	500,000	500,000	0	特別会計より繰入
寄付金	1,800,000	1,388,961	△ 411,039	同窓会協力金 R2年度新規分(一口2,000円-振込手数料)
作品展協力金	30,000	0	△ 30,000	作品展中止
雑収入	550	8	△ 542	預金利息
合計	4,984,650	4,533,169	△ 451,481	

支出				単位(円)
科目	予算額	決算額	増減	摘要
事務費	1,300,000	1,169,523	△ 130,477	事務用PC、通信費、振込手数料、会報、広告料他
会議費	563,000	95,573	△ 467,427	総会、役員会等
旅費	180,000	0	△ 180,000	支部総会出席旅費
渉外費	110,000	53,100	△ 56,900	支部総会会長手土産代、祝電・弔電
晩登塾	743,000	977,300	234,300	晩登塾記念誌制作準備用事務用品、通信用切手代
支部育成強化費	540,000	0	△ 540,000	
入会記念品費	299,000	316,800	17,800	新聞縮刷版(同窓会報、PTA会報、鳥取育英高新聞)
学校活動援助費	90,000	49,500	△ 40,500	野球大会・全国大会等激励広告代
激励費	150,000	144,000	△ 6,000	全国大会等出場生徒激励
次年度繰越金	1,009,650	1,727,373	717,723	
合計	4,984,650	4,533,169	△ 451,481	

※会計年度 令和2年8月の総会から次年度総会まで

令和3年度 同窓会一般会計予算書

収入				単位(円)
科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減△	摘要
入会金	1,425,600	1,514,700	△ 89,100	9,900円×144名
繰越金	1,727,373	1,139,400	587,973	前年度繰越金
繰入金	0	500,000	△ 500,000	特別会計より繰入
同窓会協力金	1,800,000	1,800,000	0	一口2,000円以上
作品展協力金	30,000	30,000	0	一口1,000円
雑収入	10	550	△ 540	預金利息
合計	4,982,983	4,984,650	△ 1,667	

支出				単位(円)
科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減△	摘要
事務費	1,300,000	1,300,000	0	通信費、振込手数料、用紙代、会報、総会経費(案内等)他
会議費	563,000	563,000	0	総会、役員会、学年理事会等
旅費	180,000	180,000	0	県外支部総会等出席旅費
渉外費	110,000	110,000	0	会長等渉外諸費
晩登塾	0	743,000	△ 743,000	晩登塾記念誌印刷(100部)原稿執筆謝金
支部育成強化費	540,000	540,000	0	支部総会補助 支部割10,000円(9支部)出席割@1,500×300人
入会記念品費	320,000	299,000	21,000	新聞縮刷版
学校活動援助費	90,000	90,000	0	野球大会・全国等激励広告代他
激励費	150,000	150,000	0	全国大会等出場生徒への激励他
奨学費繰出金	200,000	0	200,000	奨学金特別会計へ繰出
計	3,453,000	3,975,000	△ 522,000	
予備費	1,529,983	1,009,650	520,333	翌年度繰越資金
合計	4,982,983	4,984,650	△ 1,667	

※会計年度 令和3年8月の総会から次年度総会まで
※予算の状況により科目流用を認める。

編集後記

本号の特ダネは「晩登会奨学金」の創設である。太蔵先生の遺志を受け継ぐ事業として充実させ発展することを願う。シリーズ記事として「春の着任先生・PTA会長の紹介」を新しく取り込んだ。現場の先生及び在校生と同窓会員との橋渡しも会報の役割であると思う。今回は「会員は今、西から東から」の投稿者を各支部から紹介していただいた。やはり、情報収集の拠点を拡大すべきだと感じた。今後も、各支部長さんにお力をお借りしたいと思っ

